

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	009							
事務事業名	防災対策事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	09	項	01	目	05	事業	01
担当部	市長公室	担当課	防災危機管理課		担当係	防災危機管理			係									
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略				<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市地域防災計画, 常総市防災備蓄計画等)		根拠法令及び市条例等 <input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 災害対策基本法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)											

2 事務事業の目的										①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。											
現状課題	常総市の災害対応の根源である地域防災計画について、被災経験や法令の大きな改定を反映し大幅改定を進めている。平成30年度市内公立学校に防災倉庫が完備される。しかしながら、実際の避難者数を想定した資機材や備蓄の目標算定はなされていない。また、中期の防災訓練計画は策定されているものの行動の検証までには至っていない。さらに、地域の防災力強化の観点から防災士連絡協議会が設立され活動がスタートされたばかりだが、会の役割のひとつである自主防災組織の中核としてどのように活動活性化につなげていくかを模索している状況にある。										誰・何を対象に	市民や防災士連絡協議会									
	どのような方法・手順で	地域防災計画については、被災経験をもとに内容を改定する。防災資機材や備蓄品に関しては、基情報をもとに年齢区分別の避難対象人数を算定し、住民の備蓄を補完するための備蓄計画を策定し、10年を目標に全備蓄倉庫の充足率100%を達成する。訓練については、中期訓練計画に基づきBCPやマニュアルを改善していくメニューを作成する。防災士連絡協議会に対しては、会員の技術力強化や市民への防災活動の啓発に対する支援を行える環境構築を行う。										望ましい状態	地域防災計画に基づいた行動マニュアルや行動指針をしっかりと示した上、訓練を通し内容の理解を深める。資機材や備蓄品については、市民と協働する防災先進都市の観点から、防災訓練を機会に倉庫内の定期的な確認・共有をしながらローリングストック法により一定量の備蓄を確保する。共助による防災対策は欠かすことができないことから行政と市民の中核を担う防災士連絡協議会が中心となって市民の防災啓発活動を展開していく。								

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	防災資機材および備蓄品			単位	%	目標値	100	目標年次	2029	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由) 公助として備えるべき備蓄品の適正数値は、国のガイドラインや先進事例などを参考に整備計画を策定									

4 事務事業の実績 ㉑										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																				
年度	2016年度					2017年度					2018年度																			
	業務名					業務名					業務名																			
	活動量					活動量					活動量																			
事務事業を構成する主な業務	① 設置場所決定のための協議					① 設置場所決定のための協議					① 先行研究レビュー																			
	② 一般競争入札の実施					② 一般競争入札の実施					② 他自治体の備蓄計画の実態調査																			
	③ 倉庫設置工事の実施					③ 倉庫設置工事の実施					③ 防災備蓄品整備計画策定																			
	④ 防災備蓄品の搬入					④ 防災備蓄品の搬入					④ 防災士連絡協議会補助金交付要綱の策定																			
	⑤					⑤					⑤																			
	⑥					⑥					⑥																			
	⑦					⑦					⑦																			
	⑧					⑧					⑧																			
	⑨					⑨					⑨																			
	⑩					⑩					⑩																			
	⑪					⑪					⑪																			
	⑫					⑫					⑫																			
目標値に対する実績値					16 %					目標値に対する実績値					18 %					目標値に対する実績値					30 %					
決算額	計		17,186,000 円		内訳		特定財源		円		計		29,631,000 円		内訳		特定財源		円		計		23,223,616 円		内訳		特定財源		円	
			一般財源		17,186,000 円				29,631,000 円				23,223,616 円				23,223,616 円													
(住民一人あたりの行政コスト)					283 円					(住民一人あたりの行政コスト)					490 円					(住民一人あたりの行政コスト)					387 円					

5 担当者評価 ㉒										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	ほぼ目標どおり	成果内容	これまで明確にできていなかった防災資機材や備蓄品に係る整備計画を策定することができた。また、新年度の防災士連絡協議会の活動に向けた支援体制を確立することが出来た。																
	問題点	じょうそう未来創生プランや地域防災計画でも備蓄品の充実や自主防災活動の基本方針は位置づけられているが、具体的な対策については長期的な運用管理の枠組みを確立して必要がある。																	

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由										計画どおり着実に進化した。先進的な研究を進める中でも地道な備えの充実と着実な啓発活動が欠かせず、今後も継続した取組みが必要である。									

7 実施計画 ㉔										今後3年間の事業内容について、どのようなことを・どの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。									
年度	2019年度					2020年度					2021年度								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災備蓄計画に基づく資機材・備蓄品の購入 ● 地域防災計画(資料編)防災資機材・備蓄品一覧の改定 ● 防災訓練の実施 ・ 訓練計画作成 ・ 訓練説明会実施 ・ 実施内容の打ち合わせ ・ 課題や追加項目の反映 ● 防災士連絡協議会補助金 					<ul style="list-style-type: none"> ● 防災備蓄計画に基づく資機材・備蓄品の購入 ● 地域防災計画(資料編)防災資機材・備蓄品一覧の改定 ● 防災訓練の実施 ・ 訓練計画作成 ・ 訓練説明会実施 ・ 実施内容の打ち合わせ ・ 課題や追加項目の反映 ● 防災士連絡協議会補助金 					<ul style="list-style-type: none"> ● 防災備蓄計画に基づく資機材・備蓄品の購入 ● 地域防災計画(資料編)防災資機材・備蓄品一覧の改定 ● 防災訓練の実施 ・ 訓練計画作成 ・ 訓練説明会実施 ・ 実施内容の打ち合わせ ・ 課題や追加項目の反映 ● 防災士連絡協議会補助金 								
	成果指標	指標名	備蓄品充足率	単位	%	目標値	40	指標名	備蓄品充足率	単位	%	目標値	50	指標名	備蓄品充足率	単位	%	目標値	60
予算額	歳出	計		10,501 千円		計		12,000 千円		計		12,000 千円							
		特定財源		千円		特定財源		千円		特定財源		千円							
	歳入	一般財源		10,501 千円		一般財源		12,000 千円		一般財源		12,000 千円							
		計		10,501 千円		計		12,000 千円		計		12,000 千円							

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の内、以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。限られた予算の中ではあるが市民と協働し、防災訓練や防災啓発活動を推進して行って欲しい。また防災先進都市として近隣自治体にPRしていくことも重要である。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕																			
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由										防災先進都市を掲げる当市としても、より一層の防災力の向上を目指すことが市民の安全安心の確保につながるため、継続した取組みと市民・各団体等との連携を図ること。									

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉖										実施計画のみ作成する場合は拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容																			